

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告 かわら版34号



★平成 23 年 9 月 3 日 発行 活動ブログも更新中！フェイスブックも始めました。
発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2 電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012
E-mail info@aoyamayamoto.net HP <http://www.aoyamayamoto.net/>

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～1979年土浦市生まれ。現在32歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。08年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画のロケ地を誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。現在、茨城県議会総務企画委員会委員、東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員、土浦消防団第27分団員。

●東日本大震災から6カ月が経過。

東日本大震災から6カ月が経過しようとしております。茨城県議会でも震災後、東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会を設置し、青山も委員に選抜され議論に加わっております。

先日は、放射線等に係る対応や原子力安全体制の現状と課題、今後の対応方向について集中審議を行いました。

●県内の放射線量の測定結果

8月24日の測定の結果は、0.2 μ Sv/時以上の市町村が4市(土浦市、取手市、牛久市、守谷市)と、7月27日のときの6市(土浦市、取手市、牛久市、守谷市、かすみがうら市、つくばみらい市)から減少しており、低下傾向にあります。

県内全市町村の測定結果については裏面に掲載しております。

●保育園・幼稚園等における放射線量

低減化対策に係る手引きを作成

保育園・幼稚園等における放射線量を低減化させるための除染活動を行う場合の手引きを、(独)日本原子力研究開発機構の指導の下、守谷市及び北茨城市で実施した実験を踏まえ、作成しました。除染活動の具体的な方法は茨城県のHPに掲載されております。

実験の結果、守谷市では0.351 μ Sv/時 → 0.168 μ Sv/時と52.1%減少。北茨城市でも0.261 μ Sv/時 → 0.176 μ Sv/時と33.3%減少したとのことです。

●放射線量率の考え方、基準について

8月29日付で文部科学省から福島県に対し「福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について」という通知がなされました。

主な内容は、問題となった従来の暫定基準(20mSv/年、3.8 μ Sv/時)の終了と新たな基準(学校で受ける線量を1mSv/年以下、校庭などで受ける線量の目安を1 μ Sv/時未満とする)が設けられたことです。

茨城県では県立高校において、従来の校庭における測定に加え、側溝、雨どい下など、高い放射線量が想定される箇所について、地上から1mで測定した結果、文部科学省において除染が望ましいとする1 μ Sv/時以上の数値は出てはいません。

しかし、高い放射線量が想定される箇所について、実験的に地表1センチメートルでの測定を実施し、比較的高い数値が測定された箇所は試験的に除染作業を行っております。

県南地域でも、牛久市、つくば市、龍ヶ崎市、取手市、守谷市は市独自の基準を設け学校等の除染作業の取り組みを行っております。

放射能が健康へ与える影響については、わからないことがたくさんあります。ただそのような中でも、住民の方々に少しでも安心してもらえるような、不安要素を取り除いていくことを提言していきたいと思っております。

●銀座に茨城県のアンテナショップ

「黄門マルシェ」オープン

ご存じの方も多いと思いますが、茨城県アンテナショップ「黄門マルシェ」が7月に銀座にオープンしました。6ヶ月間の限定ですが、是非、お仕事の帰りや都内へ行かれた時は立ち寄ってみてください。

場所は、東京都中央区銀座5-2-1 銀座TSビル(旧銀座東芝ビル)1階になります。